（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	ニューライフ三浦　リハビリ児童デイサービス長岡　1号店			
○保護者評価実施期間	R8年　3月　2日	～	R8年　3月　20日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	32	（回答者数）	7
○従業者評価実施期間	R8年　3月　2日	～	R8年　3月　20日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	6	（回答者数）	6
○事業者向け自己評価表作成日	R8年　3月　25日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	遊びや体験を取り入れた、楽しみながら学べる療育	活動において運動やゲームなどを取り入れ、「楽しさ」を入り口として、体の使い方や集中力、コミュニケーション、社会性などを伸ばせるようにしている	難しそう、でもチャレンジしてみたいと思うような活動を取り入れたい
2	定型的な支援にとらわれず、児童の状況に合わせた柔軟な支援	集団活動を基本とし、児童ごとに目標や取り組み方を変え、同じ活動の中でも「できた」と感じられる形で進められるように工夫をしている	集団が苦手な児も在籍しているため、小集団や個別でも行えるよう工夫したい
3	児童が自宅や学校以外で安心して過ごせる環境	来所時の様子や表情、疲れ具合等をみて活動量や過ごし方を調整している。必要に応じて、無理に集団へ参加させず、安心して過ごせる時間も用意している	より安心して過ごせるよう、都度活動内容や環境を見直していく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	障碍特性ついての基礎的知識や支援の知識の不足	各職員個人の必要知識の底上げ、意識の向上	自己研鑽や内部勉強会、外部の研修などにより向上を図る
2	職員間での情報共有、周知、伝達の弱さ	支援を優先する中で情報共有のタイミングや方法にばらつきがある	重要事項の共有方法を統一し職員全体への周知を徹底する
3	個々の支援に集中し、全体の状況把握が十分でない場面がある	目の前の支援に集中しすぎて周囲への意識が薄れる	定期的に全体を確認し、積極的に声掛けで確認し合う

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ニューライフ三浦　リハビリ児童デイサービス長岡

公表日 令和8年4月1日

利用児童数 32　　回収数　7

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	0	0	0	部屋の中が広いです	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6	0	0	1	言語の訓練の先生やがいらっしゃったり、他の先生方も人数が多いです	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5	0	0	2	段差や階段がないので車いすの人も安心と思う	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7	0	0	0		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6	0	0	1	必要な支援をしていただいている	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	5	0	0	2	事業所の方針がわかって良いとおもう	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6	0	0	1		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5	1	0	1	詳しくはわからない 必要な支援をしてもらえていると思います	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6	1	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7	0	0	0	活動等HUGでつたえてくれています	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	0	1	1	5	必要性を感じてない 利用時間内ではむずかしいのではないでしょうか	
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7	0	0	0	利用を始める前に詳しく説明を聞きました	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	0	1	0	6	特になかったと思います	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	5	1	0	1	こまめにやりとりさせてもらってます	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7	0	0	0	面談の時に先生に相談をしています 送りの際に話をよくします。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7	0	0	0	先生方がいつも親身になってくださいます	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	0	0	2	夏休みの遠足に家族で参加しました、子どもが大喜びでした！	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	0	0	1	詳しく話をきいていただきました	

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5	1	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	3	0	0	4	よくわからない	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5	0	0	2	管理されていると思います。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2	1	0	4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	1	0	2	していると思います	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	6	0	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	0	0	1		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	7	0	0	0		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	7	0	0	0	・仲のいいお友達と会うことを楽しみにしているようです	
	29	事業所の支援に満足していますか。	7	0	0	0		

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	ニューライフ三浦リハビリ児童デイ長岡　1号店	公表日	R8年4月　1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	基準以上の十分な広さを確保できている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	0	人員配置基準を満たしています	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	段差や階段はなく、また、車いすのまま利用できるトイレもあります	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	毎日清掃、消毒をおこなっている 適宜、換気もしている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	状況により用途に合わせて使用をしている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	1	定期的にミーティングを行い、 改善に向けての話し合い、情報共有をしている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	保護者面談なども行い、ご意見やご意向はスタッフ間で共有し、業務改善に繋げています	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	3	随時気づいた点や改善案などを話し合えるようにつとめている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6	外部評価は行っていない	必要に応じ検討をする
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	2	2～3ヵ月に一回社内での勉強会を実施している	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	ネットにて作成したものを公表をしている	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	1	保護者様との面談や、契約時にご記入いただく児童調査票、子どもとの会話や日常生活の中からアセスメントをとりニーズや課題を一緒に探していき支援計画を作成し	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	1	支援にかかわる職員で情報を共有し、子どもの最善の利益を考慮して計画作成を行っている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	4	2	支援計画に基づき、1人1人に合った支援を行っている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	3	標準化された評価ツールを用いたフォーマルなアセスメントは実施していない。日々の支援や観察を通して状況把握を行っている	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	各支援内容を踏まえて支援計画を作成し、具体的な支援内容を設定している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2	季節や目標に合わせ、スタッフ間で活動案を出し合い活動予定を作成しています	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	目標に対し活動が固定されないようアプローチをしている。必要に応じ、繰り返し行う場合もある	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	支援計画に基づき、集団活動、小集団活動、個別活動の組み合わせを行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	3	送迎などで職員がそろいにくいため、一同でのMTGは困難。都度連絡事項や共有事項の把握に努めている	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	3	情報共有ノートを活用し、職員間で把握できるようにしている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	日々の状態や変化を客観的に記録している。記録に基づき支援内容を検証して支援改善につなげている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	基本的に半年に一回のモニタリングをし支援計画の見直しを行っている、また、必要に応じて起案にかかわらず見直しをする場合もあり	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6	0	地域交流は実施機会が難しいが、その他の活動については児童の状況やニーズに合わ応じ組み合わせて支援を行っている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	1	複数の活動や遊びの選択肢を提示するなど、児童自身が選択できる機会を設けている。本人の意思や希望を尊重し自己決定に繋がる支援を行っている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	管理者、または児童発達支援管理責任者が主に担当者会議に参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	必要な関係機関との連携を行えるよう、家族支援も含めた支援方法を検討する体制を設けている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	必要に応じて学校と連絡・情報共有をおこない、児童の様子や支援上の留意点などを把握して支援に生かしている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	2	主に就学やサービス移行時に必要に応じて情報共有を行っている。通常時の継続的な情報共有や交流については、現状では機会が限られている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0	卒業後のサービス移行時には必要に応じてこれまでの支援内容や本人に状況などを情報提供し、移行先との連携を行っている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	5	1	併用している他事業所からの見学や、相談支援事業所との懇談、支援計画の共有などで連携した支援ができるよう務めている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6	現時点では実施していない。限られた利用時間を考慮し、個々の発達課題に応じた療育を優先している	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0	進学などのライフステージの移行には、必要に応じて情報共有を行っている	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎時や引き渡し時、HUGの連絡欄、状況の変化などがあればその都度連絡を取り合い共有をしている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	6	現時点では明確には行えていない	どのようなアプローチが良いかを今後検討していきたい
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時には詳しい説明を行い、不明な点などがあればすぐに対応できる窓口を設置している	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	事前に面談やヒアリングを行い、児童や家族の意向を伺い、支援計画を作成している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	6	0	計画支援、および支援内容の確認を保護者にしていただき、同意を得ている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	面談時以外でも、要請に応じ保護者の皆様のお悩みなどを伺い、必要に応じたアドバイスを行っている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	児童家族共に参加の遠足やレク、運動会などを行って交流の機会を設けている	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	窓口を設け、随時、受け付けられるようにして対応している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	1	お便りにて情報の発信を行っている	保護者全員への周知がいきわたるように取り組んでいく
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報の社外持ち出し禁止や、鍵付き保管庫へ収納を徹底している	

	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	言語以外での意思疎通の手段として絵カード、ジェスチャー、サイン、指さしなどを利用している。また、保護者様との情報の伝達は口頭だけでなく必要に応じ書面を使用している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6	現時点では必要性が低く、実施していない。	利用児童のプライバシー、安全確保や防犯面、地域の実情も踏まえ、今後必要に応じ検討する
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	マニュアルを策定、完備し、必要な訓練をしている。	職員や利用者様への周知がいきわたっていないため、周知に努める
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	BCPを策定し、年一回避難訓練を実施している。救出などについては必要な対応を確認している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	てんかん発作や既往歴、服薬など児童調査票で確認している。予防接種については未確認	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	契約時に、書面でアレルギーの有無を確認をし、その際に保護者様に対応方法をお伺いしている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	安全に十分留意をし、支援を行っている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	4	2	完全周知とまでは至っていない点もあるが、連携に備えて周知事項はお伝えをしている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	2	アクシデントレポートのみ書面にて共有しています	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1	虐待防止マニュアルがある また社内で虐待防止研修を行っている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	身体拘束が必要な場合など、保護者様に説明を行い、同意を得たうえで行うと規定している。	